



## 第5回トキ放鳥

9月27日(火)から、野生復帰ステーション順化ケージにおいて、オス11羽、メス7羽のトキ放鳥を開始しました。今回も、順化ケージから直接トキが野外に出て行く「ソフトリリース」で行い、通算5回目の放鳥となりました。

### トキ目撃情報をお寄せください

放鳥されたトキはモニタリングチームが追跡・確認・調査を行っていますが、トキは広い範囲で行動するため、市民の皆さんの目撃情報は貴重な資料となります。トキを見かけたら佐渡市トキ交流会館へご連絡ください。

佐渡市トキ交流会館  
・フリーダイヤル

0120-980-551

(受付 午前8時30分～午後5時)

・FAX 24-6041(24時間受付)

・住所 〒952-0103

佐渡市新穂潟上1101-1



## トキの森公園からのご案内

佐渡市トキの森公園内の資料展示館において、6月11日に認定された、GIAHS(ジアス・世界農業遺産)のパネル展を開催しています。

期間 12月28日(水)まで

内容 GIAHSについての紹介、佐渡における取り組み、認定証の展示

場所 トキの森公園トキ資料展示館

新穂長畝383-2 ☎22-4123

午前8時30分～午後5時(入館締切

午後4時30分)

入館料(環境保全協力費)

大人(一般・高校生) 200円

小人(小・中学生) 100円

★期間中お越しいただいた方には、トキ写真のポストカードをプレゼント

しています。この機会にぜひトキの

森公園へお越しください。

森公園へお越しください。



◆市役所農林水産課 生物多様性推進室  
トキ政策係(第2庁舎) ☎63-3761



# 世界遺産登録に向けて

## 佐渡金銀山絵巻をひもとく(3)

### 地下水を汲み出す

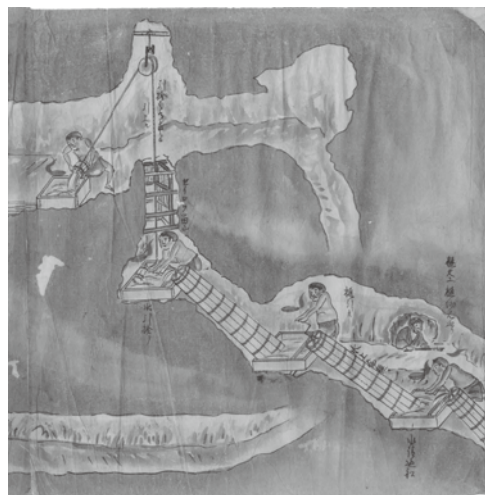
相川の金銀山が大規模に開発された17世紀初頭、採掘する場所は地下深くなりました。そこで問題になるのが、わき出てくる地下水の排水です。

排水作業で最も原始的で一般的だったのが、水桶で汲み出す「手繰水替」でした。水桶はタガが鉄輪だったので金桶ともいわれました。

坑道に「請舟」という木製の水槽を置き、金桶で水を汲みためて順繰りに汲み上げていきます。高いところに汲み上げるには、「車輪」という滑車を取り付け、釣瓶で汲み上げました。汲み上げた水は「掛樋」といわれる木製の樋や「水廊下」といわれる排水溝から坑道外へ排水しました。

この作業に当たる人を「水替穿子」といい、昼夜交代で休みなく排水が行われました。

排水の効率を上げるため、元和4年(1618)に、長さ3メートル・直径15センチ余りの水鉄砲を大きくしたような「スッポン樋」が用いられました。さらに寛永14年(1637)には、京都(大



釣瓶や水上輪で水を汲み出しているところ  
(「佐渡銀山往時之稼行絵巻」より)

阪とも)から水学宗甫という技師を招き、水上輪(アルキメデスポンプ)が導入されました。

この水上輪は、内部にらせん状の板を組み合わせたもので、「車一廻水六盃」の能力がありました。これを操る人を「樋引」といいました。

このほか、排水のための疎水道も掘られました。金銀採掘量が衰えてくると、排水の経費を節約するため、安永7年(1778)に江戸から無宿が水替として送られてくることになりました。

◆市役所世界遺産推進課(金井コミュニティセンター内) ☎63-5136